

ウンカ類カメムシ類被害圃場ゼロ計画

炎天下が続く中、害虫が動き出す...!

カメムシ類 毎年斑点米による等級低下があります!

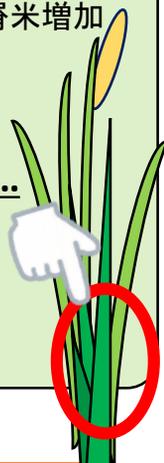
被害例: 吸汁による被害粒増加(斑点米、特に早生で多い)

防除とあわせて出穂期2週間前くらいに畦畔の草刈りを行う(ただし出穂期頃に行くと田んぼに侵入するのではない!)



ウンカ 19、20年には県内で大発生し、大きく被害が出ました。

被害例: 吸汁による茎数減少、稔実阻害、屑米増加



○要チェック! 圃場に潜んでないか確認!

圃場の調査や防除作業では、虫がよく目につく稲の上側に目が行きがち...ですが、虫(特にトビイロウンカ)は株元で生息していることが多いので株元に目を向けてみてください!また薬剤散布も下に届くよう留意してください!

トビイロウンカ: 8月上旬、成幼虫0.2頭/株8月中~下旬、成幼虫1頭/株

カメムシ類: 穂揃い期とその7~10日後に防除(圃場中央寄りの20株を調査)

「青粃率」から判断する「収穫適期」

Check!



※図中の ○ : 黄化粃 ● : 青粃

青粃率(%)で見る刈取り適期

「青粃率」とは...

穂全体を見て青粃が残っている割合(%)のこと。穂全体の青粃が全体の15~20%程度であれば適期となる。(なつほのかは10%なので注意が必要)

確認方法: 圃場の中央の穂を確認。(圃場の端は状態に「振れ」がある → 評価しにくい)

品種名	青粃率(%)
ひとめぼれ	20%
つや姫	15%
なつほのか	10%
ヒノヒカリ	20%

・刈取りが遅れた時のデメリット
熟期が過ぎ、茶米や胴割れ米が増える 食味が低下しやすい

